

本書は、旧製品の取扱説明書を電子化したものです。
一部見えにくい箇所がございます。

記載されている内容はすべて販売当時のものです。
仕様や価格などは、その後予告なしに変更されることがあります。
あらかじめご了承ください。

CASIO

P

テレメモ30

1549*JA

取扱説明書

1549

このたびは弊社製品をお買い上げくださいます。誠にありがとうございます。未長くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いくださいますようお願いいたします。なお、この説明書は大切に保存し、必要に応じてご覧ください。

警告

本機をスキューバダイビング(アクアラング)に使用しないでください。
※本機はダイバーズウォッチではありません。誤って使用すると、事故の原因となります。



電池の取り扱いについて

本機で使用しているボタン電池を取り外した場合は、誤ってボタン電池を飲むことがないようにしてください。特に小さなお子様にご注意ください。

電池は小さなお子様の手の届かないところへ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

注意

かぶれについて

時計の本体およびバンドは、直接肌に接触していますので、使用状態によってはかぶれを起こす恐れがあります。

- ① 金属・皮革に対するアレルギー
- ② 時計の本体およびバンドの汚れ・サビ・汗等
- ③ 体調不良等

- バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは余裕をもたせてご使用ください。
- 「抗菌防臭バンド」は汗などによる細菌の繁殖を抑え、においの発生を防ぐもので、皮膚のかぶれをふせぐものではありません。
- 万一、異常が生じた場合は、ご使用を中止し、医師にご相談ください。

お手入れについて

ケース・バンドは汚れからサビが発生し、衣服の袖口を汚すことがあります。ケース・バンドは常に清潔にご使用ください。特に、海水に浸した後放置しておくとしび易くなります。

分解しないでください

本機を分解しないでください。ケガをしたり、本機が故障する原因となることがあります。



データ控えを作ってください

記憶させた内容は、必ず「パソコンでバックアップする」か、「ノートなどに書く」などして、本機とは別に控えを残してください。本機の故障、修理や電池交換を行なうと、記憶内容は消去されます。



オートライト作動時のご使用について

- 登山やハイキングなどでご使用の場合、暗く足元の不安定な場所で、歩きながら時計を見ることは危険ですのでおやめください。転倒やケガの原因となることがあります。
- 夜間、車両が通行する道路や路面の安全を確認できない走路などで、ランニングをしながら時計を見ることは危険ですのでおやめください。交通事故、転倒の原因となることがあります。
- オートライト作動状態のとき、本機を腕につけて自動車などを運転すると、不用意にライトが点灯し、運転の妨げになり危険ですのでおやめください。交通事故の原因となることがあります。

安全上のご注意

絵表示について

この注意書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△ 記号は「気をつけるべきこと」(注意)を意味しています。(左の例は感電注意)



⊘ 記号は「してはいけないこと」(禁止)を意味しています。(左の例は分解禁止)



● 記号は「しなければならないこと」(強制)を意味しています。(左の例は電源プラグをコンセントから抜く)

ご使用上の注意

防水性 ●表面または裏蓋に WATER RESIST または WATER RESISTANT と表示されているもの。

	BAR 無し	5BAR	10BAR	20BAR
洗顔、雨	○	○	○	○
水仕事、水泳	×	○	○	○
ウインドサーフィン	×	×	○	○
スキューバダイビング(素潜り)	×	×	○	○

※ BAR は気圧の意味で、防水性の高さを表わします。
※ 専門的な潜水=スキューバダイビング(アควアラング)でのご使用はお避けください。

●表面または裏蓋に WATER RESIST または WATER RESISTANT と表示されていないもの。防汗構造になっておりませんので、多量の汗を発生する場合、もしくは湿気の多い場所でのご使用や直接水に触れるようなご使用はお避けください。

●防水構造の機種でも、水中でのボタン操作は行なわないでください。
●防水構造の機種はシャワー程度の温水では使用できますが、入浴等で長時間使用することはお避けください。

●海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れをふきとってください。
●防水性を保つために定期的(2~3年を目安に)なパッキン交換をおすすめします。
●電池交換の際、防水検査を行ないますので、必ずお買い上げの店あるいは最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにお申し付けください。(特殊な治具を必要とします)

●防水時計の一部にデザイン上皮バンドを使用しているモデルがありますが、皮バンド付の状態では、水仕事・水泳など直接水のかかるご使用はお避けください。

●バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。
●樹脂バンドも皮バンド同様、日々の使用により劣化し、切れたり折れたりする場合があります。バンドにヒビなどの異常がある場合は、必ず新しいバンドと交換してください。そのときは、お買い上げ店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにバンド交換をお申し付けください。保証期間内であっても実費にて申し受けます。

●樹脂バンドの表面にシミ状の模様が発生することがありますが、人体および衣服への影響はありません。また、布等で簡単にふきとることができます。

●自動車のダッシュボード等の高温になる所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり止まったりすることがあります。

●+60℃以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。
●低温下で使用し、ボタン部分が凍結した場合、ボタン操作ができなくなることがあります。常温に戻ればボタンは正常に作動します。

●低温下でアラームを使用すると表示が見にくくなったり、消えたりすることがあります。常温に戻れば正常に作動します。

●腕につけたままでもトククロス、チェーンソー、削岩機などの強い振動を受けても時計には影響ありません。

●腕につけたまま激しいスポーツなどでショックが加わっても時計には影響ありません。

●磁気の影響はありません。

●水銀や化学薬品(シンナー、ガソリン、各種溶剤、またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類)が付着すると、ケース、バンドなどに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

●長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などをふきとり、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

●お手入れについて

お手入れのしかた ●時計も衣服同様、直接身につけるものです。本体ケースやバンドの汚れ、汗・水分などは、吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にご使用ください。

●金属バンドは、時々、部分洗いをすることをおすすめします。部分洗いの際、時計本体に水がかからないようにしてください。非防水時計の場合は故障の原因となり、また防水時計でも石けん水により防水性が損われることがあります。

●「サビ」
●ステンレススチールはサビにくい性質ですが、汚れによりサビが発生します。
※ 汚れにより酸素が断たれると、表面の酸化被膜が維持できなくなり、サビが発生します。
●表面はきれいでも、すきまに付着した汚れやサビがしみ出して、衣類の袖を汚すことがあります。

●「劣化」
●樹脂バンドは汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿気の多い場所に保管すると、劣化が早くなり、切れたり、折れたりすることがあります。

●「かぶれ」
●皮膚の弱い方やアレルギー体質の方は、かぶれたりすることがあります。
●万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。
●特に、皮バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れをするか、金属バンドのご使用をおすすめします。

●データ保護について

電池切れや電池交換および故障修理の場合、データ内容はすべて消えてしまいますのでご了承ください。また、故障・修理・電池交換等に起因するデータの消失による損害および逸失利益等につきましては、当社では一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。なお、大切なデータはノートなどに控えをとっておいてください。

万一、本機使用により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

●蛍光商品のお取り扱いについて

蛍光商品のケース/バンドを使用しているものは、以下の点にご注意ください。

●長時間、直射日光に当てますと、色あせする場合があります。

●長時間、濡れたままにしておくとし色が落ちるおそれがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとって、乾かしてください。

●長時間、他の商品と密着させたり、濡れたまま他の商品と一緒にしておく、他の商品に色が移行することがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとり、密着保存を避けてください。

●プリントがしてある場合は、プリント部分を強くこすると他の部分に色がつくことがあります。

●電池交換について

最初の電池 ●工場出荷時にモニター用電池が組み込まれておりますので、記載された電池寿命に満たないうちに切れることがあります。
※ モニター用電池とは時計の機能や性能をチェックするための電池のごとて、時計本体価格に電池代は含まれておりません。

消耗 ●電池が消耗しますと「時刻の狂いが目立ったり」「表示が見にくくなったり」「消えたり」します。
●消耗した電池を使っていると故障の原因になりますので、お早めに交換してください。

電池交換 ●電池交換は必ずお買い上げ店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにお申し付けください。
●電池は必ず当社指定の専用電池と交換してください。指定以外の電池を使用しますと故障の原因となる場合があります。
●電池交換の際、防水検査を行ないます。(防水検査は別途有料となります)
●電池交換を行なうと本機に記憶されているデータは消えてしまいます。大切なデータはノートなどに控えを残しておくことをおすすめします。

●液晶パネルの交換について

液晶パネルは約7年を過ぎますと数字や文字が読みにくくなる場合があります。そのときはお買い上げ店またはカシオテクノ・サービスステーションに交換をお申し付けください。実費にて申し受けます。

●ELパネル(表示照明部)の交換について

表示照明用として本機に使用しているELパネル(エレクトロルミネッセンスパネル)は、長期間使用しますと明るさが弱くなり、光が暗く見える場合があります。このようなときにはお買い上げ店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーションに交換をお申し付けください。実費にて申し受けます。

デモ表示について

本機は工場出荷時に「デモ表示」に設定してあります。デモ表示では各モードを表示し続けます。(この間、通常のボタン操作はできません)

●デモ表示の解除

① ボタン(左下)を約2秒間(確認音が鳴るまで)押し続けます。



●デモ表示の設定

解除時と同様に① ボタン(左下)を約2秒間押し続けます。

製品仕様

水晶発振周波数: 32,768 Hz

精度: 平均月差±15秒以内

基本機能: 時刻表示=時・分・秒 カレンダー表示=年・月・日・曜日

テレメモ: 名前=8文字、電話番号=12桁、メモリー件数=最大30件
自動ソート、残りメモリー数表示

アラーム: 時刻アラーム 5本
セット内容=月・日・時・分 電子音=20秒間
時報=毎正時に2回電子音で報知

ストップウォッチ: 計測単位=1/100秒
計測範囲=23時間59分59秒99(24時間計)
通常計測、積算計測、スプリットタイム計測、1・2着同時計測

タイムマー: 計測単位=1/10秒 計測範囲24時間 セット単位=1秒
計測機能=通常計測、ロスタイム計測
タイムアップを10秒間の電子音で報知
リピート計測/オートリピート計測切替

その他: 自動復帰機能、12/24時間制表示切替、モニターアラーム、デモ機能、ELバックライト、オートEL

主要回路素子: 音叉型高性能水晶振動子、CMOS-LSI

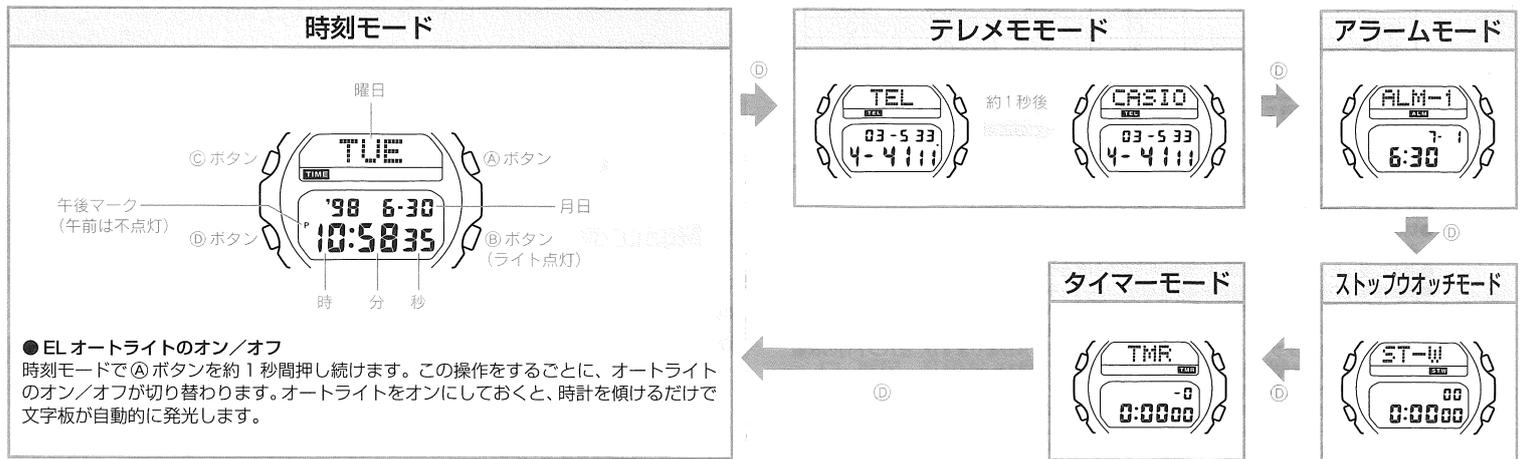
使用電池: CR-2016(電池別途販売)
※ 電池はカシオ指定のものをご使用ください。

電池寿命: 約2年
※ 1日当たり電子音を20秒間、ELライトを6.5秒間使用した場合

(ただし、ELバックライトの使用条件により、電池寿命が短くなる場合があります。)
・1日あたりELバックライトを12.5秒間使用: 約1.5年
・1日あたりELバックライトを22.5秒間使用: 約1.0年

操作のしくみと表示の見方 ① ボタンを押すごとに、以下の順で表示が切り替わります。

※各モードでその機能を使用したあと、① ボタンを押すと直接時刻モードに戻ります。



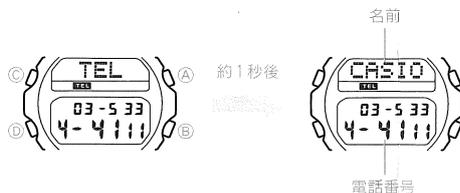
テレメモの使い方

① ボタンを押してテレメモモードにします。

- テレメモは名前8文字、電話番号12桁を最大30件までメモリーできます。
- 名前で入力できるのは空白、アルファベット(A～Z)、数字(0～9)、- (ハイフン)、. (ドット)、/ (スラッシュ)、: (コロン)です。
- 電話番号で入力できるのは- (ハイフン)、0～9、空白です。
- メモリーしたデータは、名前順に並び替わりますので、データを探るときに便利です。
- ※並び替えは、名前の先頭から比較して空白、アルファベット(A～Z)、数字(0～9)、-、.、/、:の順です。
- ※アルファベットのO(オー)を数字の0(ゼロ)で代用すると、並び替えが正しく行なえません。
- ※テレメモのセットで点滅表示のまま2～3分すると、自動的に点滅が止まります。

テレメモモードに切り替えると、前回最後に見た名前と電話番号を表示します。

※データが入力されていないときは「NO-DATA」と表示されます。



● データを探す

テレメモモードで① ボタンを押すごとに名前順に、② ボタンを押すごとに逆の順に表示されます。

※①・② ボタンとも押し続けると早送りができます。

● データのクリア

① ① または ② ボタンを押して、クリアしたいデータを表示させます。

② ② ボタンを約2秒間押し続けます。→ 名前部の1桁目が点滅します。

③ ① ボタンと② ボタンを一緒に押すと、表示されていたデータがクリアされます。→ クリア後は新たなデータが入力できます。

④ ② ボタンを押します。



● スクロール表示

名前部が6文字以上の場合は、1度5文字を表示したあと、右から左に順に送られて表示する「スクロール表示」になります。

● データを入力(修正)する

① ① または ② ボタンを押して、空ページまたは修正したいデータを表示させます。

※空ページが表示されずに「FULL」と表示されたときは、データがすでに30件メモリーされていますので、不要なデータをクリアしてください。

② ② ボタンを約2秒間押し続けます。→ 名前部の1桁目が点滅します。

③ ① ボタンまたは② ボタンを押して文字を選び、② ボタンを押して桁を移動させ、名前を入力(修正)します。→ ① ボタン=1つ進む ② ボタン=1つ戻る ※押し続けると早送りできます。

④ 名前の入力が終わったら、電話番号部の1桁目が点滅するまで何回か② ボタンを押します。

⑤ ① ボタンまたは② ボタンを押して数字を選び、② ボタンを押して桁を移動させ、電話番号を入力(修正)します。→ ① ボタン=1つ進む ② ボタン=1つ戻る ※押し続けると早送りできます。

⑥ 入力(修正)が終わったら、② ボタンを押します。→ 点滅が止まります。

● 残りメモリー件数表示

テレメモモードで① ボタンと② ボタンを同時に押します。押ししている間、残りメモリー件数を表示します。

アラーム・時報の使い方

① ボタンを押してアラームモードにします。

- アラームは分単位でセットできます。
- アラームは5つあり、いずれも同じ使い方ができます。
- セット時刻になると20秒間の電子音で知らせます。
- 毎正時(00分)になると時報を鳴らすこともできます。
- ※「時」のセットのとき午前/午後(P)にご注意ください。
- ※基本時刻を24時間制表示にしているときは、アラーム時刻も自動的に24時間制表示となります。
- ※アラーム時刻のセットで点滅表示のまま2～3分すると、自動的に点滅が止まります。

● アラーム時刻のセット

① ① ボタンを押して、セットしたいアラーム番号を表示させます。

② ② ボタンを約2秒間押し続けます。→ 時が点滅します。 ※アラームオンマーク(●)が点灯します。

③ ② ボタンを押すと、点滅箇所が「時」→「分」→「月」→「日」→「…」と移動します。

④ セットしたい箇所を点滅させたら、① ボタンまたは ② ボタンを押します。

→ ① ボタン=1つ進む ② ボタン=1つ戻る

⑤ 合わせ終わったら、② ボタンを押します。点滅が止まります。

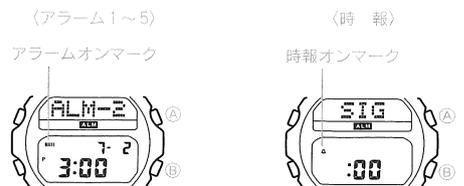


月・日・時・分のセットにより、以下のようにアラームの鳴るタイミングが選べます。

- 毎日鳴らすとき 「時・分」のみセット
- 1ヶ月間毎日鳴らすとき 「月・時・分」をセット
- 毎月同じ日に鳴らすとき 「日・時・分」をセット
- 指定日に鳴らすとき 「月・日・時・分」をセット

● アラーム・時報のオン/オフ

アラームモードで① ボタンを押して、オン/オフしたいアラーム番号または時報表示を選びます。② ボタンを押すごとにアラームオンマーク(●)または時報オンマーク(▲)が点灯/不点灯して、オンとオフが切り替わります。



● 鳴っている電子音を止める

いずれかのボタンを押します。 ※アラーム報音中にオートライトが発光すると自動的に止まります。

● モニターアラーム

アラームモードで① ボタンを押し続けると、押ししている間電子音が鳴ります。

ストップウォッチの使い方

①ボタンを押してストップウォッチモードにします。

- ストップウォッチは1/100秒単位で23時間59分59秒99(24時間計)まで計測できます。
- 計測時間を超えると、自動的に「0」に戻って計測を続けます。
- 計測終了後①ボタンを押すと、計測値が「0」に戻ります。(リセット)

計測のしかた

①ボタンを押すごとに計測がスタート/ストップします。



計測中に①ボタンを押すと、表示は止まりますが内部では計測を続けるスプリット計測となります。スプリット計測を解除するには、もう一度①ボタンを押します。



通常計測

① → ② → ③
スタート ストップ リセット

積算計測

ロスタイムのある場合は、ストップ後リセットせずに①ボタンを押してスタートすれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。

スプリットタイム計測 (途中経過時間計測)

① → ② → ③ → ④ → ⑤
スタート スプリット スプリット解除 ストップ リセット

1・2着同時計測

① → ② → ③ → ④ → ⑤
スタート 1着ゴール 2着ゴール 2着タイム表示 リセット
(1着タイム表示)

タイマーの使い方

①ボタンを押してタイマーモードにします。

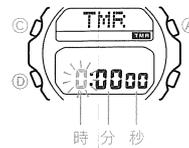
- 秒単位で最大24時間までセットできます。
- セットした時間を経過すると、10秒間の電子音でタイムアップを知らせます。
- タイムアップ後も自動的に計測を繰り返す、オートリピートタイマーとしても使えます。

※オートリピートタイマーでセット時間が10秒以内のとき、タイムアップ音は1秒間だけ鳴ります。

※タイマー時間のセットで点滅表示のまま2~3分すると、自動的に点滅が止まります。

タイマー時間のセット

- ①ボタンを約2秒間押し続けます。→ 時が点滅します。
- ①ボタンを押すと、点滅箇所が「時」→「分」→「秒」→…と移動します。
- セットしたい箇所を点滅させたら、①ボタンを押します。
→ ①ボタン=1つ進む
※押し続けると早送りできます。
※24時間をセットするときは「0:00 00」に合わせます。
- 合わせ終わったら、①ボタンを押します。点滅が止まります。



タイマーの使い方

①ボタンを押します。押すごとにスタート/ストップします。1/10秒単位で残り時間を表示します。
※計測停止時に①ボタンを押すと計測前の時間に戻ります。
※ロスタイムがあるときは、計測中に①ボタンでストップ後、もう一度①ボタンを押すと、表示タイムに引き続き計測を始めます。



タイマー方法を選ぶ

リピートタイマー(繰り返し計測)

タイムアップすると、減算計測が止まります。約10秒後にセット時間を表示します。

オートリピートタイマー(自動繰り返し計測)

タイムアップしても、ストップするまで自動的に同じ時間を繰り返して計測し続けます。

タイマー時間のセットのときに①ボタンを押します。押すごとに「AUTO」が点灯したり消えたりします。「AUTO」が表示されているときにオートリピートタイマーとなります。



鳴っている電子音を止める

いずれかのボタンを押します。

時刻・カレンダーの合わせ方

時刻モードにします。

※「時」のセットのとき午前/午後(P)、24時間制にご注意ください。

※「年」は1995~2039年の範囲内でセットできます。

※曜日は年月日を合わせれば自動セットされます。

※カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外は修正不要です。

※時刻・カレンダーのセットで点滅表示のまま2~3分すると、自動的に点滅が止まります。

秒の合わせ方

月に1度くらいこの「秒合わせ」をしていただくと、時計はいつも正確です。

- ①ボタンを約2秒間押し続けます。→ 「秒」が点滅します。



- 時報に合わせて①ボタンを押すと00秒になります。
→ 00~29秒のとき: 切り捨てられる
30~59秒のとき: 1分繰り上がる
※時報は「時報サービス117番」が便利です。



- 合わせ終わったら、①ボタンを押します。→ 点滅が止まります。

時刻・カレンダーの合わせ方

電池交換などで時刻・カレンダーが合っていないときは、以下の方法で合わせてください。

- ①ボタンを約2秒間押し続けます。→ 「秒」が点滅します。



- ①ボタンを押すごとに、点滅箇所が「時」→「分」→「12/24時間制切替」→「年」→「月」→「日」→…と移動しますので、セットしたい箇所を点滅させます。

- ①ボタンまたは②ボタンを押します。
→ ①ボタン=1つ進む
②ボタン=1つ戻る



※押し続けると早送りできます。
※12/24時間制切り替えは、①ボタンを押すと12時間制と24時間制が切り替わります。

- 合わせ終わったら、①ボタンを押します。→ 点滅が止まります。

表示照明用 EL バックライトについて

本機の表示部にはELパネル(エレクトロルミネッセンスパネル)が内蔵されており、暗いときに表示を明るくしてみることができます。また、時計を傾げるだけで、自動的に発光するオートライト機能もあります。

● ボタンを押して発光させる ～手動発光～

時刻モード・ストップウォッチモード・タイマーモードのとき

① ボタンを押します

→文字板にあるELパネルが約2秒間発光します。

※ELパネル発光中にもう一度ボタンを押すと、その時点から引き続き約2秒間発光します。



● 時計を傾けて発光させる ～自動発光(オートライト)～

オートライトは、ボタンを押さなくても文字板が自動発光する便利な機能です。

準備 時刻モードのときに、

① ボタンを約1秒間押します

→オートライトオンマーク(AUTO-ON)が点灯し、オンになります。

※もう一度①ボタンを約1秒間押すと、オートライトオンマーク(AUTO-ON)が消えてオフになります。

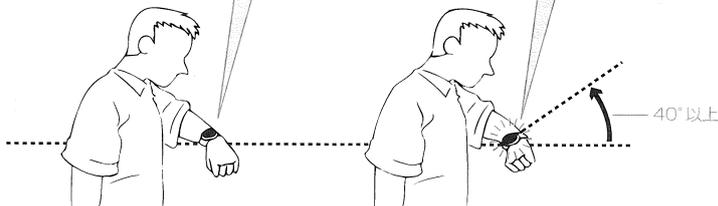


オートライトオンマーク

文字板を発光させる

① 時計を腕にはめ、水平にします

② 水平状態から、表示が見えるように約40°傾けます



※オートライトを使用するときは、時計が「手首の外側」にくるようにつけてください。
※このとき、文字板の左右(3時～9時方向)の角度を±15°以内にしておいてください。15°以上傾いていると発光しにくくなります。



<オートライトご使用時の注意>

- オートライトが作動するのはオンしてから2～3時間です。それ以降は電池消耗防止のため、自動的にオフになります。
- オートライトを頻繁に使用すると、電池寿命が短くなりますのでご注意ください。
- 時計を傾けたとき、ELパネルの発光が一瞬遅れることがありますが異常ではありません。
- ELパネル発光後、時計を傾けたままにしても発光は約2秒間のみとなります。
- 時計を「手首の内側」につけていたり、腕を振ったり、腕を上へあげたりしても発光することがあります。オートライトを使用しないときはオフにしておいてください。
※時計を「手首の内側」につけるときは、できるだけオートライトをオフにしておいてください。
- 静電気や磁気などでオートライトが動作しにくくなり、発光しないことがあります。このときは、もう一度水平状態から傾け直してみてください。なお、それでも発光しにくいときは、腕を下から振りあげると発光しやすくなります。

<EL発光についての注意>

- 直射日光下では、発光が見えにくくなります。
- 発光中にいずれかのボタンを押したり、アラームなどが鳴り出すと発光を中断します。
- 発光中に時計本体より音が聞こえることがありますが、これはELパネルが点灯する際の振動音であり、異常ではありません。